

○学習情報指導員の配置 29,646

【目的】

I C Tを活用した授業や校務が支障なく行われるよう、機器等の保守・管理や教員による校内研修への支援を行うことにより、教育の情報化を図る。

【4年度目標】

- ・ G I G Aスクール構想で整備した機器を含む各学校・園の I C T機器の保守・管理支援を行い、I C T機器を利活用しやすい環境を整える。
- ・ 校務支援システム、教育クラウドやタブレット端末などの I C T環境を有効活用できるよう支援を行い、教員の I C T活用能力を高める。

【実施内容】

- 【充】・ G I G Aスクール構想を推進するため、令和3年度から7人を増員して11人体制とし、学校の I C T環境が有効活用されるよう支援を行う。
- ・ 各学校を週に1回定期訪問し、1人1台端末環境を活用した教育活動への支援業務、I C T機器等の保守・管理支援業務、校務支援システムに関する業務等を行う。
 - ・ 学校の要請に応じて授業支援や研修支援を実施する。

○特別支援教育巡回相談事業 736

【目的】

通常の学級に在籍する特別な支援が必要な児童生徒に対して、巡回相談員が学校訪問をして校内支援体制の構築を図り、児童生徒の学習を充実させる。

【4年度目標】

校内の支援体制づくりや特性に応じた支援ができるように、巡回相談員の相談体制を整備するとともに、年5回の研修会や年3回の全体会を通して、巡回相談員の専門性の更なる向上を図る。

【実施内容】

- ・ 巡回相談の要請があった学校に巡回指導を行う。
- ・ 市内を14ブロックに分け、33人の巡回相談員（小学校担当23人、中学校担当5人、特別支援学級担当3人、聴覚障害を有する児童生徒担当2人）が学校を訪問し、検査の実施や支援方策等について助言する。
- ・ 視覚障害のある児童生徒に対応するため、新潟県立新潟盲学校の職員の支援を必要とする学校へ派遣できる体制を整備する。
- ・ 家庭環境や生徒指導に関わるケースについては、必要に応じて児童相談所、すこやかなくらし包括支援センター等と連携する。

○LD（学習障害）指導員の配置 7,617

【目的】

LD（学習障害）のある児童へのきめ細かな指導を行うため、小学校にLD通級指導教室を設置し、学習障害に関する専門的な知識と経験を持った指導員を配置することにより、児童の特性に応じた指導の場を確保する。

【4年度目標】

LD通級指導教室設置校において、40人程度の児童が週2～3時間の指導を受けられるようにし、学習意欲の向上や学習面での困難さの改善を図る。

【実施内容】

- ・LDの障害特性に合わせた多様な学びの場の充実を図るため、4校のLD通級指導教室に、LD指導員（4時間勤務）4人を配置する。
- ・学習障害のある児童が自校で指導を受けられるよう、本務校を拠点に児童の在籍する学校への巡回指導を実施する（大手町小の指導員が東本町小へ週1日の巡回を行う）。
- ・適切な指導ができるよう研修会や情報交換会を開催し、LD指導員同士で授業参観や指導実践、教材の紹介、情報交換等を行い、指導方法の知識や技能を高め、専門性の向上を図る。

歳出科目 (P300～P301)	10 款 2 項 2 目	教育振興費
------------------	--------------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
小学校夢・志チャレンジスクール事業	22,440	22,563	△123

主な財源		主な経費	
一般財源	22,440	負担金補助及び交付金	22,440

【目的】

全小学校を対象に、「夢・志ある人づくり活動」に必要な経費等への支援を行い、地域とともに特色ある教育活動に取り組む。

【4年度目標】

学校運営協議会での熟議を通じて、保護者や地域とともに目指す子どもの姿を共有し、その実現に向け、創意と工夫を凝らした「夢・志ある人づくり活動」に取り組む学校に対し、財政支援及び指導を行い、教育活動の活性化を図る。

【実施内容】

- ・各小学校が、保護者や地域とともに目指す子どもの姿を実現するために取り組む「夢・志ある人づくり活動」に対して活動費を支援する。
- ・中学校区で目指す子ども像を共有し、地域に根差した特色ある教育活動を推進するため、学校運営協議会委員の参画によるカリキュラムの作成・改善を進める。

※交付金の対象となる主な活動内容

- ① 地域貢献活動、地域行事への参加・参画、地域の福祉や介護ボランティア体験活動
- ② 地域の自然と関わり、特色を捉えたり調査、保全、提案等を目指したりする活動
- ③ 地域の伝統や文化を学んだり、その継承や文化創造等を目指したりする活動
- ④ 郷土の偉人・先人について、調査、体験等を行ったり、伝え広めたりする活動
- ⑤ 夢・志を持って地域で活躍・活動している人の生き方に触れる活動

(費目別の主な用途)

交付費目	金額	主な用途等
報償費	3,405	○動物飼育及び野菜栽培活動等講師謝金 ○特色ある体験活動（地域芸能等）講師謝金 ○ふるさとの偉人に関わる学習会講師謝金 ○活躍する地域人、先輩による講演会講師謝金
旅費	67	○学習会、講演会等講師旅費

交付費目	金額	主な用途等
需用費	4,749	○野菜栽培活動用消耗品費（柵、支柱等） ○人権教育、同和教育指導資料用消耗品費 ○調べ活動のまとめ・発表等に係る消耗品費 ○動物飼育小屋修繕料
役務費	387	○講演会等講師礼状郵便料 ○動物飼育診療費
委託料	990	○学校田及び学校畑管理委託料 ○特色ある体験活動（地引網等）委託料 ○大型動物輸送委託料
使用料及び 賃借料	2,532	○飼育動物（ヒツジ、ヤギ等）借上料 ○田畑借上料 ○栽培体験活動用機械借上料
原材料費	672	○動物飼育小屋修繕用原材料（ベニヤ板、角材等） ○野菜栽培看板作成用原材料（ベニヤ板、ペンキ等）
バス利用料	9,586	○校外学習（施設見学、体験等）送迎用
事務費	52	
計	22,440	

提出課	教育総務課
-----	-------

歳出科目 (P300～P303)	10款2項3目	学校建設費
------------------	---------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
小学校市単独事業	152,189	47,702	104,487

主な財源		主な経費	
国庫支出金	39,127	一般財源	59,637
繰入金	20,625	委託料	880
市債	32,800	工事請負費	151,309

【目的】

学習形態の多様化への対応や、経年劣化した施設及び設備の改善を図り、児童が安全・安心に学べる環境を確保する。

【4年度目標】

授業に支障を来さないよう計画的に工事を進め、確実に履行する。

【実施内容】

内 容	学 校 名
体育館屋根改修工事 (2校)	東本町小、戸野目小
駐車場舗装工事	中郷小
校庭整備工事等	中郷小
雨漏り改修工事 (2校)	柿崎小、上下浜小
既存空調設備更新工事 (4校)	東本町小、谷浜小、牧小、大潟町小
ロッカー入替工事 (2校)	高田西小、大潟町小
普通教室エアコン設置工事(4校)	高田西小、大島小、牧小、大潟町小
校内通路舗装改修工事	牧小
用務員室エアコン設置工事(7校)	黒田小、大和小、戸野目小、八千浦小、大瀧小、吉川小、中郷小
職員トイレ等洋式化工事	上下浜小
体育館扉改修工事	高田西小
窓改修工事	戸野目小
窓サッシ戸車交換工事	柿崎小
フェンス設置工事	里公小
給食室エアコン設置工事	大和小
給食室外壁改修工事	北諏訪小

内 容	学 校 名
給食室給湯器設置工事	高志小
給食室エアコン入替工事	直江津小
給食室昇降機改修工事	高志小
スクールバス車庫解体撤去工事	柿崎小

歳出科目（P 302～P 303）	10 款 2 項 3 目	学校建設費
-------------------	--------------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
小学校大規模改造事業	115,049	0	115,049

主な財源		主な経費	
市債	98,800	工事請負費	115,049
一般財源	16,249		

【目的】

経年劣化した施設及び設備の大規模改修を行い、耐久性及び機能性の向上を図り、学校教育の円滑な実施に資する。

【4年度目標】

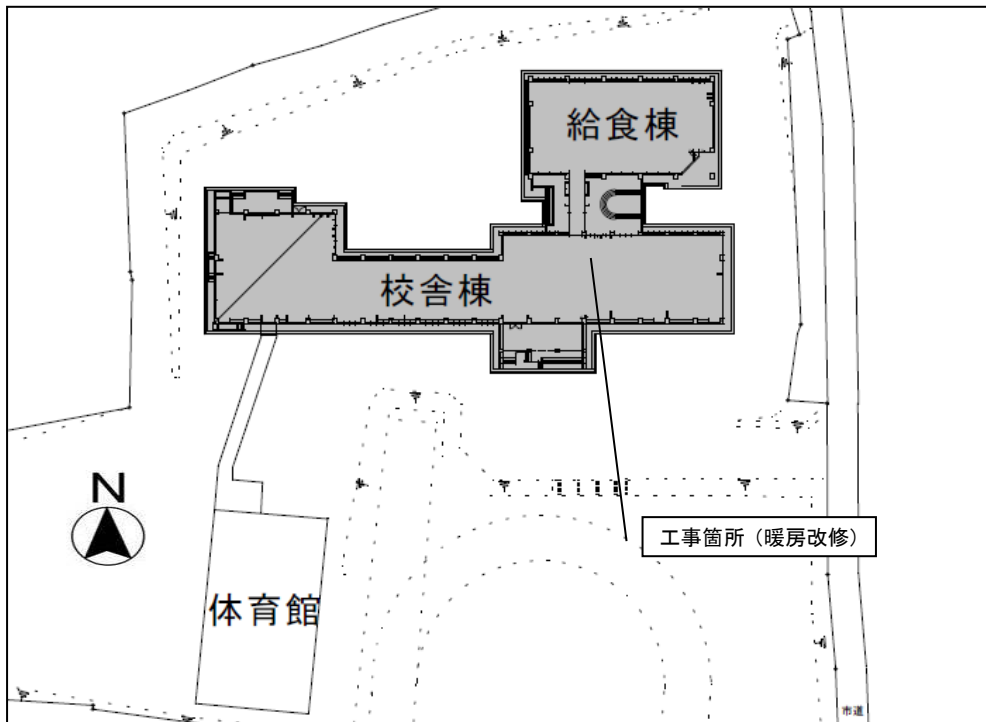
上下浜小学校ほか2校の大規模改造工事を完了する。

【実施内容】

学校名	建物区分	面積(m ²)	建築年	予算額		主な工事内容
				工事請負費		
上下浜小学校	校舎	3,121	昭和61年	工事請負費	50,897	暖房改修
南川小学校	校舎	3,760	昭和59年 ほか	工事請負費	51,172	暖房改修
直江津小学校	校舎	3,925	平成19年	工事請負費	12,980	空調改修
合計					115,049	

小学校大規模改造工事位置図

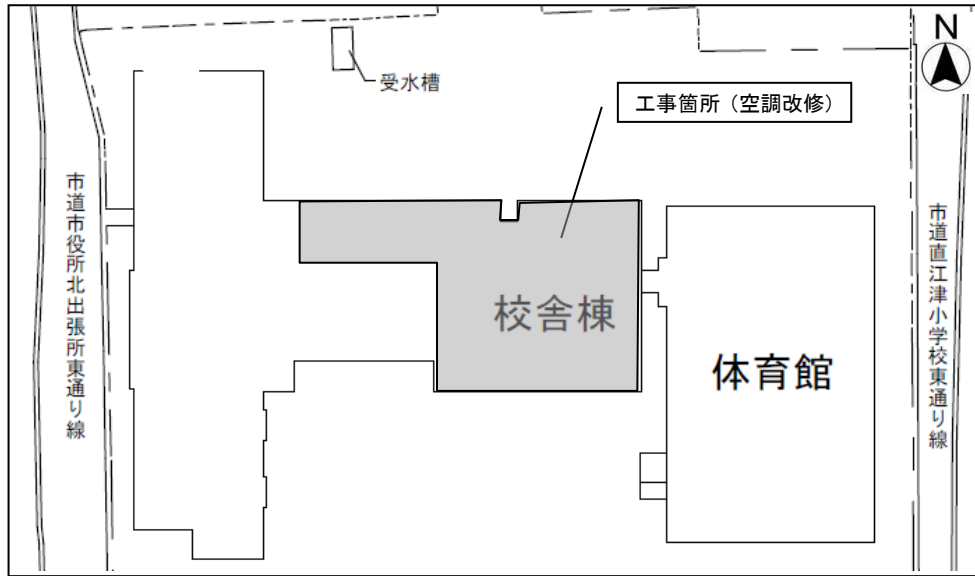
- ・上下浜小学校



- ・南川小学校



・直江津小学校



※前々頁に記載の「本年度」及び「前年度」の金額は当初予算額である。

ただし、下記の表は、各年度における国の補正予算を活用した事業費の前倒し等による補正予算の影響額を反映し、実質的な予算比較を表示している

令和4年度			令和3年度			比較
令和3年度 補正予算額 (※)	当初予算額	合計	令和2年度 補正予算額 (※)	当初予算額	合計	
210,870	115,049	325,919	97,264	0	97,264	228,655

※各年度の補正予算額は、国の補正予算を活用した事業費の前倒し等による額を示す。

歳出科目（P 302～P 303）	10 款 3 項 1 目	学校管理費
-------------------	--------------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
中学校施設管理費	351,270	333,443	17,827

主な財源		主な経費	
使用料及び手数料	112	報酬	22,097
国庫支出金	1,442	委託料	58,865
諸収入	1,038	共済費	4,845
		需用費	221,165
一般財源	348,678	使用料及び賃借料	22,877
		工事請負費	8,622

【目的】

適切な施設の維持管理を行い、生徒が安全・安心に学校生活を送ることができる教育環境を維持する。

【実施内容】

危険箇所や不具合箇所等の修繕及び学校警備委託などを行い、施設を適切に維持管理する。

(経費の内訳)

項目	金額	内容	
報酬	22,097	学校用務員報酬	
職員手当等	4,581	学校用務員期末手当	
共済費	4,845	学校用務員共済組合負担金、雇用保険料、労災保険料	
報償費	24	鍵管理人報償金	
旅費	1,081	学校用務員通勤費	
需用費	消耗品費	7,777	プール用ろ過機フィルター・消毒薬剤、消防用ホース、消火器、施設管理用消耗品、校務作業用消耗品ほか
	燃料費	28,152	暖房用、草刈機・除雪機用ほか
	光熱水費	143,234	電気、ガス、水道料金
	修繕料	42,002	生徒用机・椅子・カーテン修繕、消防設備・給食設備修繕、緊急修繕、特別支援学級対応修繕ほか
役務費	4,642	エアコン定期点検、ボイラー始業前点検、浄化槽法定検査、各種水質検査、し尿汲取り手数料ほか	
委託料	58,865	施設維持管理に係る各種業務（機械警備、消防設備点検、浄化槽保守管理、貯水槽清掃、エレベーター保守、電気保安、ごみ収集運搬処理、除雪ほか）	
使用料及び賃借料	22,877	ガス漏れ警報器・除雪機等の機械借上、下水道使用料、集落排水使用料	
工事請負費	8,622	学校整備工事（電気設備、下水道分流メーター更新）	
原材料費	1,135	補修用資材、冬囲い用材料	
負担金補助及び交付金	1,336	テレビ共同受信施設組合負担金、公共下水道受益者負担金	
合計	351,270		

歳出科目 (P 302～P 305)	10 款 3 項 1 目	学校管理費
--------------------	--------------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
中学校管理事務費	50,459	51,216	△757

主な財源		主な経費	
諸収入	175	需用費	14,611
一般財源	50,284	使用料及び賃借料	21,407
		役務費	8,129
		公有財産購入費	259
		委託料	87
		備品購入費	5,966

【目的】

中学校 22 校の学校運営に必要な消耗品や事務用機器、物品等を整備し、学校教育を円滑に実施する。

【実施内容】

(経費の内訳)

項目	金額	内容	
消耗品費	14,611	学校管理用・事務用消耗品	
役務費	通信運搬費	6,311	電話料、郵便料
	手数料	1,818	ピアノ調律、ミシン調整、クリーニング等手数料
委託料	87	事務機器リース満了物件運搬委託料	
使用料及び賃借料	21,407	事務用機器等借上料、複写機使用料、土地借上料、用務員私有車借上料ほか	
公有財産購入費	259	学校用地購入費	
備品購入費	5,966	学校管理用・事務用備品	
合計	50,459		

提出課	学校教育課
-----	-------

歳出科目 (P 304～P 305)	10 款 3 項 2 目	教育振興費
--------------------	--------------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
中学校教材費	52,420	51,898	522

主な財源		主な経費	
国庫支出金	1,835	需用費	40,684
一般財源	50,585	委託料	55
		備品購入費	11,681

【目的】

生徒の学習に必要な教材消耗品及び教材備品・図書を購入し、教育環境の充実を図る。

【4年度目標】

学校要望や必要性を踏まえた教材の整備を行うことで、生徒がより効果的に学習できる環境を整備する。

【実施内容】

(経費の内訳)

項目	金額	内容
消耗品費	教材消耗	31,912 文具、理科実験材料、体育用品ほか
	特別支援	1,323 文具、学習ドリル、花苗ほか
	通級	297 文具、学習ドリル、検査用紙ほか
	図書費	6,846 学校用図書
	新聞費	206 図書室用新聞
修繕料	100	教材備品修繕料
委託料	55	ピアノ保守点検業務委託料
教材備品購入費	11,681	理科実験器具、楽器、体育用品、ミシンほか
合計	52,420	

歳出科目（P304～P305）	10款3項2目	教育振興費
-----------------	---------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
中学校教育指導、研究費	8,951	46,618	△37,667

主な財源		主な経費	
一般財源	8,951	給料	2,482
		報償費	270
		旅費	58
		需用費	300
		役務費	184
		委託料	4,302

学校の教育活動において、キャリア発達を促すことができる教育環境の整備を図り、これからの社会を生き抜くために必要な資質・能力を育成するとともに、義務教育の学習内容の確実な定着を図る。

○キャリア・スタート・ウィーク推進事業 687

【目的】

地域の産業や地域で働く人との触れ合いを通じて、働くことの意義について理解を深め、自分の将来を明確に考えることができる生徒を育てる。

【4年度目標】

- ・官民学連携による実行委員会を組織し、事業を展開するとともに、職業適性検査やマナー講習会を実施し、職場体験や職業講話を通じたキャリア教育の充実を図る。
- ・外部講師によるマナー講習会で、新しい生活様式における対人マナーの変化を学習する。
- ・令和4年度学校教育実践上の重点のキャリア教育について、「中学2学年において特別活動を要としながらキャリア発達を促す体験的な活動を充実した」と回答する学校の割合を100%にする。

【実施内容】

- ・市立中学校2年生に在籍する全ての生徒を対象に、職場体験や職業講話を実施する。
- ・上越市キャリア・スタート・ウィーク実行委員会を組織するとともに、学校と連携し、次の事業を展開する。
 - ① 学校、受入事業所、行政等の相互連絡体制の整備・充実
 - ② 受入事業所の開拓とリスト作成
 - ③ 受入事業所・協力内容の充実
 - ④ 市内中学校への受入事業所のリスト配布
 - ⑤ 小中学校におけるキャリア教育の推進・充実

○中学校教科書・指導書の支給事業 125

【目的】

教員用の教科書、指導書及びデジタル教科書を配布し、「わかる、参加できる、楽しい」と思える授業づくりを推進する。

【4年度目標】

教員が必要な教科書及び指導書を確保し、効果的に学習できる体制を整備する。

【実施内容】

学級数の増加に伴い不足する教員用の教科書及び指導書を購入し、配布する。

○中学校学力向上対策事業 8,139

【目的】

市立中学校生徒の客観的な学力実態を把握し、教育施策等の振り返りを行うとともに、市全体及び各学校の課題を明らかにし、生徒一人一人の学力向上に向けた教育環境や指導体制を整える。

【4年度目標】

- ・標準学力検査（NRT）や各種学力検査結果の早期分析と、課題解決に向けた学校への指導支援を行う。
- ・標準学力検査（NRT）において、国語、数学・算数、英語とも偏差値平均を52以上にする。

【実施内容】

- ・4月に、中学1年生を対象に、国語、算数の標準学力検査（NRT）を実施し、小学4から6年生の学習内容の定着状況を把握する。中学2・3年生を対象に、国語、数学、英語の標準学力検査（NRT）を実施し、前年度までの学習内容の定着状況を把握する。
- ・標準学力検査（NRT）や各種学力検査の結果を早期に分析し、課題解決に向けた学校への指導支援を行う。
- ・学力向上が必要な数学については、算数・数学授業改善支援員を1人配置し、授業改善の指導・支援を行い、教員の指導力を高める。
- ・学力向上が必要な英語については、担当指導主事を中心に教育機関と連携した授業改善の指導・支援を行い、教員の指導力を高める。

歳出科目（P304～P305）	10款3項2目	教育振興費
-----------------	---------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
外国語指導助手による語学指導事業	96,917	92,488	4,429

主な財源		主な経費	
諸収入	5,544	報酬	67,860
一般財源	91,373	共済費	13,377
		旅費	3,389
		役務費	4,779
		使用料及び賃借料	5,359

児童生徒が外国語指導助手（以下「ALT」という。）と授業内外での日常的な関わりを通じて、自国と外国の言語や文化への関心を深め、豊かな国際感覚、確かな人権感覚、外国語でのコミュニケーション能力を高める。

○ALTによる学校巡回指導 96,888

【目的】

学級担任とALTとの効果的なチーム・ティーチングを実施するとともに、生きた英語を提供することにより、児童生徒が自国のみならず外国の言語や文化について関心・理解を深め、外国語でのコミュニケーションへの意欲や能力を高める。

【4年度目標】

- ・小学校においては、英語でコミュニケーションを図る素地や基礎となる資質・能力を育成できるよう、ALTを有効活用した「聞くこと」と「話すこと」の言語活動の充実を図る。
- ・中学校においては、英語でコミュニケーションを図る資質・能力を育成できるよう、ALTを有効活用した、「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」の技能を統合させた言語活動の充実を図る。
- ・全ての小中学校において、ALTと児童生徒との授業以外の交流を行う。

【実施内容】

- ・19人のALTを15の中学校（城北、城東、城西、雄志、八千浦、直江津、直江津東、春日、安塚、柿崎、大潟町、頸城、板倉、清里、三和）に配置し、原則、配置先中学校区の小学校に訪問するよう計画的かつ効率的に巡回指導する。
- ・小学校においては、中学年で30時間、高学年で35時間のチーム・ティーチングによる授業を実施できるようにALTを配置する。
- ・中学校においては、全ての学級で週1回、チーム・ティーチングを実施できるようにALTを配置する。
- ・外国語活動や国際理解教育などのために、配置以上の時間を必要とする小学校へは、定期訪問校と調整の上、ALTの訪問回数や訪問時期等を決定し、訪問させる。

【目的】

夢・志のある生徒を育むために、ALTと短期間に集中的に英語を使う実体験を通して、英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度や意欲、能力を強化する。また、各校での英語学習に活力を与え得る人材を育成する。

【4年度目標】

イングリッシュ・キャンプ終了時において、参加者全員が、「参加以前よりも英語を使うことに自信を持つことができた」と評価できるようにする。

【実施内容】

ALTとの体験活動を通して英語力を伸ばしたいという意欲のある生徒を対象として、日帰り研修（イングリッシュ・キャンプ・モーニング）を行う。

- ・定 員：50人
- ・実施時期：8月中旬
- ・実施場所：オーレンプラザ
- ・実施方法：事前学習及び（日帰り）体験活動

歳出科目（P304～P305）	10款3項2目	教育振興費
-----------------	---------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
中学校就学援助費補助事業	87,185	86,333	852

主な財源		主な経費	
国庫支出金	1,840	役務費	203
一般財源	85,345	扶助費	86,982

【目的】

経済的理由によって就学が困難と認められる生徒の保護者に対して必要な援助を行うとともに、特別支援学級に在籍する生徒の保護者に対して就学費用の一部を援助する。

【4年度目標】

生活保護制度や国の要保護児童生徒援助費補助制度の動向、税制改正、マイナンバー制度への対応など、国の施策等を注視しながら、引き続き援助を必要としている保護者への確に援助する。

【実施内容】

(1) 要保護及び準要保護児童生徒援助費

① 要保護

- ・認定基準 生活保護世帯
- ・対象経費 生活保護費（教育扶助費）で援助されていない修学旅行費及び医療費

② 準要保護

- ・認定基準 生活困窮世帯（市民税が非課税又は減免の世帯、前年度所得が生活保護基準の1.3倍以下の世帯）
- ・対象経費 学用品費、新入学児童生徒学用品費（入学準備金）、体育実技用具費、修学旅行費、学校給食費、通学費、PTA会費、生徒会費、日本スポーツ振興センター災害共済費、医療費、卒業アルバム代、オンライン学習通信費

[充] GIGAスクール構想に基づく端末持ち帰りの本格実施を踏まえ、準要保護世帯における通信環境の整備と学習に要する通信費を経済的に支援するため、オンライン学習通信費を援助費目に追加する。

援助費目	本年度援助額	前年度援助額	比較（増額）
オンライン学習通信費	14,000円	0円	14,000円

(2) 特別支援教育就学奨励費

- ・認定基準 特別支援学級に在籍する生徒の世帯（要保護及び準要保護児童生徒援助費認定世帯を除く。）
- ・対象経費 学用品費、新入学児童生徒学用品費、体育実技用具費、修学旅行費、学校給食費、校外活動費

援助費目別の人数、金額

	要保護及び準要保護児童生徒援助費		特別支援教育就学奨励費	
	人数(人)	金額	人数(人)	金額
学用品費	568	12,744	71	807
新入学児童生徒学用品費 (入学準備金)	185	11,100	32	960
体育実技用具費	225	437	22	21
修学旅行費	194	11,817	17	518
学校給食費	543	32,424	71	2,152
通学費	10	348	—	—
校外活動費(宿泊あり)	—	—	0	0
校外活動費(宿泊なし)	—	—	59	68
P T A会費	512	2,124	—	—
生徒会費	568	1,682	—	—
災害共済費	543	250	—	—
医療費	1	9	—	—
卒業アルバム代等	190	1,672	—	—
オンライン学習通信費	568	7,849	—	—
合 計	568	82,456	71	4,526

※人数は援助費目ごとの支給見込み人数で、合計は実支給見込み人数

※要保護及び準要保護児童生徒の新入学児童生徒学用品費(入学準備金)は、令和4年度入学の生徒と令和5年度入学予定の生徒の合計

歳出科目 (P 304～P 305)	10 款 3 項 2 目	教育振興費
--------------------	--------------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
中学校教育援助費	17,465	17,558	△93

主な財源		主な経費	
県支出金	27	負担金補助及び交付金	
一般財源	17,438		17,465

学校生活の充実を図るため、各種事業の支援を行い、保護者の経済的負担を軽減する。

○遠征費交付金 17,411

【目的】

スポーツや文化活動などの課外活動を支援し、学校生活の充実を図る。

【4年度目標】

保護者の経済的負担の軽減と円滑な事業の実施に向けた支援を行うことにより、体育・文化活動の振興と学校生活の充実を図る。

【実施内容】

学校代表として対外大会に出場する個人又は団体の参加費等について、大会区分により3分の1から4分の3を補助する。

区 分	大会参加費用に対する補助割合			
	参加費	交通費	宿泊費	運搬費
市内大会及び市内新人大会	3分の1	3分の1		3分の1
地区大会	2分の1	2分の1		2分の1
県大会及びブロック大会	2分の1		2分の1	
全国大会	2分の1		4分の3	

大会参加内訳及び補助額（見込み）

区分	大会区分	大会数(回)	延べ参加数(校)	補助額
運動部	新人市内大会	15	142	13,560
	地区大会	16	152	
	県大会	17	87	
	ブロック大会	6	17	
	全国大会	3	4	1,343
文化部	地区大会	2	12	2,286
	県大会	5	29	
	ブロック大会	1	1	222
計		65	444	17,411